

## 第 200 回 役 員 会 議 事 録

日 時： 平成 24 年 9 月 10 日（月） 14：30～15：00

場 所： 特別応接室

出席者

有川総長	今泉理事	落合理事	菊川理事	高柳理事
藤木理事	丸野理事	本木理事	安浦理事	

### 1 給与の支給基準の検討開始について

国家公務員の給与水準に対する人事院勧告の概要について説明があり、審議の結果、当該勧告の内容を参考として、本学における給与の支給基準について検討を開始することを議決した。

### 2 平成 24 年度博士課程教育リーディングプログラムについて

本学が申請中の博士課程教育リーディングプログラムオールラウンド型「共律創成リーダー育成プログラム」について、同プログラムの公募要領に定められた「当該プログラムが採択された場合にこれを確実に実施することを証する文書」に関し、以下のとおり確認した。

「共律創成リーダー育成プログラム」について、当該プログラムが採択された際には、人文科学府人文基礎専攻、人文科学府歴史空間論専攻、人文科学府言語・文学専攻、比較社会文化学府日本社会文化専攻、比較社会文化学府国際社会文化専攻、人間環境学府都市共生デザイン専攻、人間環境学府人間共生システム専攻、人間環境学府行動システム専攻、人間環境学府教育システム専攻、人間環境学府空間システム専攻、法学府法政理論専攻、経済学府経済工学専攻、経済学府経済システム専攻、理学府物理学専攻、理学府化学専攻、理学府地球惑星科学専攻、数理学府数理学専攻、システム生命科学府システム生命科学専攻、医学系学府医学専攻、医学系学府保健学専攻、歯学府歯学専攻、薬学府創薬科学専攻、薬学府臨床薬学専攻、工学府物質創造工学専攻、工学府物質プロセス工学専攻、工学府材料物性工学専攻、工学府化学システム工学専攻、工学府建設システム工学専攻、工学府都市環境システム工学専攻、工学府海洋システム工学専攻、工学府地球資源システム工学専攻、工学府エネルギー量子工学専攻、工学府機械工学専攻、工学府水素エネルギーシステム専攻、工学府航空宇宙工学専攻、芸術工学府芸術工学専攻、芸術工学府デザインストラテジー専攻、システム情報科学府情報学専攻、システム情報科学府情報知能工学専攻、システム情報科学府電気電子工学専攻、総合理工学府量子プロセス理工学専攻、総合理工学府物質理工学専攻、総合理工学府先端エネルギー理工学専攻、総合理工学府環境エネルギー工学専攻、総合理工学府大気海洋環境システム学専攻、生物資源環境科学府資源生物学専攻、生物資源環境科学府環境農学専攻、生物資源環境科学府農業資源経済学専攻、生物

資源環境科学府生命機能科学専攻，生物資源環境科学府生物産業創成専攻，統合新領域学府ユーザー感性学専攻及び統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻の参画の下，トヨタ，富士通，アステラス製薬，インテル，MOVIDA・JAPAN，国連ハビタット及び上海交通大学と連携して計画調書等の申請書類に記載の事項について確実に実施する。

また，本学が申請中の博士課程教育リーディングプログラム複合領域型（環境）「グリーンアジア国際戦略プログラム」について，同プログラムの公募要領に定められた「当該プログラムが採択された場合にこれを確実に実施することを証する文書」に関し，以下のとおり確認した。

「グリーンアジア国際戦略プログラム」について，当該プログラムが採択された際には，総合理工学府量子プロセス理工学専攻，総合理工学府物質理工学専攻，総合理工学府環境エネルギー工学専攻及び工学府地球資源システム工学専攻の参画の下，九州電力株式会社，新日本製鐵株式会社，宇部興産株式会社，住友金属鉱山株式会社，ダイキン工業株式会社，マヒドン大学，マレーシア日本国際工科院，シンガポール国立大学，インド工科大学，バンドン工科大学及びダッカ大学と連携して計画調書等の申請書類に記載の事項について確実に実施する。

また，本学が申請中の博士課程教育リーディングプログラム複合領域型（生命健康）「新世代コホートを核とするヒューマンサイエンスリーダー教育プログラム」について，同プログラムの公募要領に定められた「当該プログラムが採択された場合にこれを確実に実施することを証する文書」に関し，以下のとおり確認した。

「新世代コホートを核とするヒューマンサイエンスリーダー教育プログラム」について，当該プログラムが採択された際には，システム生命科学府システム生命科学専攻，医学系学府医科学専攻，医学系学府医学専攻，工学府機械工学専攻及びシステム情報科学府情報学専攻の参画の下，国立循環器病研究センター，国立遺伝学研究所，産業技術総合研究所，順天堂大学，エーザイ株式会社，旭化成ファーマ（株），旭化成（株），協和発酵キリン（株），アステラス製薬株式会社，Stemcell Inc.，株式会社ファルマデザイン，株式会社島津製作所，三菱化学株式会社ケミカルホールディングス，National University of Singapore，Kaohsiung Medical University，University of California, Berkeley，Tongji University，European Molecular Biology Laboratory，Kuakini Health System，Oregon Health & Science University 及び University of Minnesota と連携して計画調書等の申請書類に記載の事項について確実に実施する。

また，本学が申請中の博士課程教育リーディングプログラム複合領域型（物質）「分子システムデバイス国際研究リーダー養成および国際教育研究拠点形成」について，同プログラムの公募要領に定められた「当該プログラムが採択された場合にこれを確実に実施することを証する文書」に関し，以下のとおり確認した。

「分子システムデバイス国際研究リーダー養成および国際教育研究拠点形成」について，当該プログラムが採択された際には，工学府物質創造工学専攻，工学

府化学システム工学専攻，工学府物質プロセス工学専攻，工学府材料物性工学専攻，理学府化学専攻，理学府物理学専攻，システム生命科学府システム生命科学専攻，システム情報科学府電気電子工学専攻，統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻，ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター及び経済学府産業マネジメント専攻の参画の下，University of California, Los Angeles, スタンフォード大学（アメリカ），Interuniversity Microelectronics Centre, Okinawa Institute of Science and Technology, 九州大学カリフォルニアオフィス及び財団法人九州先端科学技術研究所と連携して計画調書等の申請書類に記載の事項について確実に実施する。

### 3 基幹教育院教員の選考について

基幹教育院教員の選考について，次のとおり審議を行った。

#### (1) 教員選考委員会の構成員について

前回の役員会における意見を踏まえて見直しを行った教員選考委員会の構成員（案）の説明があり，審議の結果，これを議決した。

#### (2) 教員の配置換について

基幹教育院への教員の配置換について，事前審査委員会及び基幹教育院教授会における選考結果の説明があり，審議の結果，配置換を行う教員候補者として1名を選定することを議決した。

(以 上)